

第3回・熊野古道報告書

5月14日(月)～17日(木)は、熊野古道・大雲取・小雲取越えでした。天気は4日間晴天。参加13名＝後藤、加藤、鈴木夫妻、佐々木夫妻、渡邊、山口、高岡、峰田、田内、合谷、星

1日目 2018年5月14日(月) 晴

長泉発4:00、那智駅着10:30。ここからスタート。天気は良く暑い。まず、世界遺産の補陀洛山寺(ふだらくさんじ)に寄る。熊野古道は本来、神社巡りだが、周辺には良い寺も多い。

寺は天台宗。静岡県東部では少ない宗派。お勤めをする。巡礼の成果だ。管理者が、「三貌十一面千手千眼観音」像を拝観させてくれた。本来、この像は年3回しか見られないという。奈良時代(?)のものらしいが、綺麗で美しい像だった。千の指に眼が付いている。

炎天下、那智に向かう。途中から裏道で足に優しくかった。長い長い大門坂を上る。下る方は多いが、上る人は少ない。この階段は、一体何段あるのだろうか。

登り切れば、熊野那智大社と那智山青岸渡寺着。双方、立派な社だった。寺では中に入りお勤め。寺は非常に温かく迎えてくれた。川崎の集団が来て、御詠歌を朗々と詠っていた。

外に出て、那智大滝をバックに記念写真。阿弥陀寺は時間がなく行けなかった。大滝を落口から仰ぎ宿に向かう。当初、強面のオヤジだったが、結果的には気さくな方だった。息子さんが相撲活動で、沼津に時々訪れるそうだ。一日目は無事終了でした。



青岸渡寺から大滝

2日目 5月15日(火) 晴＝大雲取越え

那智の宿は、「美滝山荘」。価格は観光地でやや高。料理・応対は良かった。部屋から那智滝が見える。トイレは、ウオシュレット。ただ、布団が羽根でなく重かった。出発時、主人が「黒あめ・那智黒」を一袋くれた。

宿発7:28。まずは青岸渡寺に上り、境内の脇から大雲取り道に入る。杉木立の石畳みが続く。右手に那智大滝の音がするが姿は見えない。その先に、かけぬけ道が分かれ、阿弥陀寺に続くが、今日も時間がなく寄れなかった。

依然として石畳は続く。一つひとつが大きい。こんな石を昔は何処から上げたのだろうか。色川辻から林道を下る。地蔵茶屋跡は前半の終了点。ウオシュレットのトイレ、自販機、東屋がある。20名程外人さんが昼食中だった。彼らは逆コースで小口からやって来た。

宿で作ったであろう、サンドイッチを食べている。国際色豊かでオーストラリア、シンガポール、アメリカと様々だった。日本人的な方がいたので聞いたら、香港の方だった。賑やかで愛想もイイ。そこにいるだけで楽しくなってしまう。



石畳みの古道

我々も昼食時間だったが、石倉峠まで頑張る。土砂崩れで巻き道を上る。巻き道は、本来15分だが40分も掛かってしまった。仙台から来た4人組に会った。休暇10日で高野山から来たという。越前峠手前の広場で昼食。日差しが強く暑い。冷えたビアが美味しかった。

越前峠を越えると小口まで長い長い下り。依然として石畳が続く。東の川が見えれば小口は近い。下り切ると右手に酒屋があった。夜のビアを6本調達。店のババ様は愛想が良かった。宿の小口自然の家は学校跡を利用したものだった。管理人は感じが良かった。何故か私を「先生だったでしょう」と言ったので、面倒だから「そうです」と答えておいた。

宿は安価だが食事も良かった。夕食時、外人さんがいたので、一献差し上げ交流。オーストラリ

アの方だった。それにしても外人さんが多い。古道は人気があった。程良い疲れもあり、早々と寝てしまった。

3日目 5月16日(水) 晴=小雲取越え

7:05、小口自然の家からスタート。天気は良かった。登山口の小和瀬橋を渡る。眼下の赤木川は素晴らしい清流だった。霧囲気のある民家の間を通り山に入る。

例によって石畳が続く。今回のコースは、昨日に比べると、やや楽のようだ。しかし、終了して歩数を見たら、大雲と同じだった。坂道の印象などで、感じ方が変わるのであろう。

標高466mの桜峠を越えると大きな上りはなくなる。この日も多くの外人さんと交流した。若い単独の女性も少なくない。イスラエルから来たという35歳の女性は美しい方だった。

百間ぐらは展望が良い所。外人さんが20名くらい休んでいた。ヨーロッパから来た日本語が堪能な男性は、明日以降、小辺路に向かうと言った。それにしても、多くの方が逆コースは何故。感覚的には、熊野本宮に向かうが正コースと思うが。逆コースの場合は、本宮が出発地。先にお参りは、如何なものか。

松畑茶屋跡で昼食。午後は長い穏やかな下りで熊野川岸の請川バス停着。ここから熊野川に沿って40分歩き、熊野本宮着。これで今回の計画は終了。大斎原で記念写真を撮って、宿の川湯温泉に向かった。



小口自然の家

4日目 5月17日(木) 晴

川湯温泉は、亀屋旅館に泊まった。亀屋は、創業150年、建物は築80年で県有形文化財になっている。建物は旧いが味わいはある。眼前に川湯の大塔川が流れる。

亀屋は、ウォーキング会員のFさんの紹介。Fさんの奥方がこちらの出身で亀屋のオカミと同級生だった。お蔭で料理はサイコーに良かった。皆さま、大いに満足でした。

朝、大塔川の露天風呂に入った。お湯は温からず熱からずでサイコー。川音を聞きながら、川風を受けての入浴は、言う事はなかった。ここは本来混浴。従って宿は水着を貸し出している。私はそれを知らなかったので水着なしで楽しんだ。ま、何方も来なかったですが。

朝食を済ませ今日の目玉、熊野川川下りに向かった。川下りは熊野川と北山川がある。熊野川は普通の舟下り。北山川は筏に立って乗り荒瀬を下る。希望は北山川だったが、残念ながらこの時期の平日は営業してなかった。この様子はネットで見られるが、絶対面白い。

<https://www.youtube.com/watch?v=kRpWQtB1vjg>

舟下りは1時間半。流れは穏やかで、やや退屈だった。価格は3500円で高め。以前乗った天竜川は、販売舟が来たりしたが、ここは無かった。川下りを終了し静岡に向かい、4日間の熊野古道は終了。2年で小・中・大雲・小雲を完歩した。

コース的には、それぞれ特徴があり、一概に何処がイイとも言えない。小辺路は、3日間で1000m級の山を3峰越える。中辺路は兎に角、距離が長い。大雲・小雲は、比較的楽。

ただ、熊野古道にしては人工林が多く、自然林が少ない。また、古道脇に林道が伸びる箇所が多かった。ま、これも現代では仕方が無いか。宿・食事・人情はそれなりに良かった。やっぱり旅は行ってなんぼである。また、新しい旅を探したい。



熊野本宮大社

熊野古道バンザ〜イ！！また、皆で新しい旅を探そう！！

以上